



かまはし



「もっとみんな笑顔の学校」を目指して！

2学期が本日で終了しました。2学期は、毎日の学習の成果を発揮する多くの行事を実施しました。校内水泳記録会、見学学習、修学旅行、宿泊体験学習、学習発表会、校内マラソン記録会、釜子チャレンジタイムなど、それぞれの行事をととして、子どもたちのがんばりや成長を感じる場面がたくさんあり、とてもうれしく思います。感染症の影響がある中で、日々の教育活動やすべての行事等を予定どおりに実施できたのは、保護者の皆様のご理解やご協力があったからこそと感謝しております。本当にありがとうございました。

さて、4月より「子ども、保護者、地域、教職員 みんな笑顔の学校」を目指して教育活動を展開してまいりました。

これまででも、保護者主体による漢字検定や英語検定の実施、PTA活動以外の除草作業のボランティアや地域の皆様による図書ボランティアなど、教育活動に参加いただいているところです。



令和5年（度）につきましては、さらに「みんな笑顔の学校」を目指していきます。

保護者や地域の皆様には、学校のおきパートナーとして学校経営に参画していただき「釜子の子どもたちは、釜子（学校・保護者・地域）で育てる」を合言葉と一緒に取り組んでいけたらと思います。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

子どもたちに教えられた「目標達成」に必要なこと

先日、2年生から「招待状」をいただきました。「おもちゃまつり」を開催するので見に来て下さいとのこと。行ってみると、2年生がグループに分かれて、自作のおもちゃで1年生を楽しませようとがんばっていました。

その中に「皿まわし」のコーナーがありました。平然とした顔でくるくる回している子がいたので「簡単にできるだろう」と思ってトライ！しかし何回やっても皿は傾いたまま、そして床に落下を繰り返しました。結局その時間では成功できずに悔しい気持ちで、どうすればできるのだろうと考えながら校長室へ帰って行きました。

何とか成功させたいと思い、2年生教室へ再度訪問、そしてトライ、でも、失敗。そこに「この皿とわりばしを使うといいですよ」と女の子。もう一人の女の子が「わりばしはもう少し下の方を持つといいですよ」や「こんな動きをすればいいですよ」と体全体を使ってアドバイスをしてくれました。そして再チャレンジ、「この皿とわりばしなら絶対できる！下の方を持って、さっき教えてもらった動きで…」、すると傾いていた皿が次第に床と平行になり、くるくと回り始めました。「やった！できた！」と思わず叫んでしまいました。2年生からは拍手の嵐。とても気分良く校長室に戻りました。

今年度は「目標に向かってやり抜く子ども」の育成を最重点事項として取り組んでいます。できないことをできるようにするためには、

- ・自分で繰り返しトライしてみる
- ・アドバイスを素直に聞き入れる
- ・できたことを人から認められる

が大事なんだなああと2年生の子どもたちから学びました。「自分にはどうせできないから」

と最初から決めつけないで、小さな目標や大きな目標（夢）を立て、あきらめずに取り組んでほしいと思います。私の中では、この小さな？成功体験が2022年の十大ニュースのトップとなりました。学校にお越しの際には、「皿まわし」をご披露いたしますので、お声かけいただければと思います。

